



雪道だけではない!! 冬の運転はとても危険

早いもので今年も終わりに近づいています。
12月は飲酒運転や交通事故の多い月です。
最後まで気を抜かず、素敵な新年を迎えましょう。

12月「師走」の由来

元々、師走は旧暦で一年の最後という意味で用いられていましたが、現在は暦上の12月に位置付けられています。クリスマスにお正月の準備、忘年会や年末の締め行事など、一年でもっとも忙しく「僧侶（師は、僧侶の意）が仏事で走り回る忙しさ」という由来から師走と呼ばれています（現代では「年果てる」や「し果つ」等から「しわす」に変化したなどという説もあるようです）。

12月に怖いものと言えば・・・

一年の最後の月ということもあり、気が抜けてしまう方、また年の瀬で大忙しになり、ついつい不注意になりがちな時期です。そんな時にやってくる「冬」。舞い降りてきた初雪に「冬だなあ」としみじみと感じますが、「雪が降る時期＝路面凍結の時期」です。12月の交通事故件数で一番多いのは、路面凍結による事故です。これは、忘年会の飲酒運転ももちろんですが、会社行事や残業により夜遅くの帰宅になること、冬タイヤ装着をしていないこと、春～秋の感覚のまま運転をしていることが大きな原因となっています。



雪道だけが路面凍結ではない!!

「路面凍結」という言葉を聞いて、どんな風景を想像しますか？おそらく多くの方が「雪が降って凍った道」を想像すると思います。実はそれは大きな間違いです。氷点下、つまり0度以下になると、たとえ雪が降っていなくても路面は凍結します。ちょっとした水溜り、泥なども凍りますので、滑って転んで大怪我の元になりかねません。「気温はマイナスだけど凍ってないだろう」という安易な気持ちで運転したり歩くのは大変危険です。



路面凍結時の注意事項

路面凍結時の車など（バイク・自転車等も含む）の運転・歩行は大変危険です。下記の点に注意して走行しましょう。

- ・道路標識や天気予報の情報に注意する
- ・交通規則を守る
- ・スピードの出しすぎに気をつける
- ・急ハンドル、急ブレーキは絶対にしない

さらに、車の運転時には下記の事にも注意しましょう。

- ・タイヤチェーンを携行し、早めに装着する
- ・冬タイヤを装着する
- ・車間距離を十分にとる

雪があまり降らない地域では、積雪・凍結時の対策が分からない方も多くいるようです。いざという時のために、事前に知識を付け備えておきましょう。



労災に注意しましょう

これからの時期は、毎年労働災害の発生が増加します。いつも以上に、十分に注意して業務にあたってください。

- 年末年始にかけて普段と違う環境（仕事のペース、物の配置等）の中での作業が発生しやすく、想定外の事故が起きやすくなります。
- 風邪をひいたり忘年会などで体調をくずしやすく、体調不良のまま作業をすることで、事故が起きやすくなります。

全員で、事故のない職場をつくりましょう！
よろしくお願いいたします。

来年もよいお年をお過ごしください！

『ヒヤリハットアンケート』の提出をお願いします。

別途配布する『ヒヤリ・ハットアンケート用紙』に記入し、事業所管理担当者に提出してください。
手渡しその他、管轄営業所への郵送でもかまいません。